※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　現代の国語　（大修館書店）						
副教材等	常用漢字クリア五訂版　（尚文出版） 常用漢字クリア別冊徹底トレーニングノート五訂版　（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の国語は社会生活に必要な国語力を養う授業です。
・社会人にとって必要な国語力を養い、社会に必要とされる人材になれるよう努めましょう。
・自分の意見や主張を正しく表現し、他者の意見や気持ちを理解できるよう国語力を養いましょう。
・提出物の期限を守り、授業の後には教科書やノートをよく読んで復習してください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一	ことばをひらく ［教材］ 「「変わる」ことを楽しもう」	a：言葉や語句の意味を理解し、正確に文章を読み取っている。 漢字の小テストを行い、基礎学力を身につけている。 b：［読］「変わる」ことについて、筆者の考えを読み取っている。 c：本文を読み、授業に積極的に参加している。	振り返りテスト ノート	振り返りテスト ノート	ノート
	日本語を使いこなす ［教材］ ことばの使い分け 正しく書こう	a：敬語・文末表現について学び、正しく使うことができ、文章を正しく書くことができる。 漢字の小テストを行い、基礎学力を身につけている。 b：［書］敬語などを使い自分の意見や思いを表現することができる。 ［話/聞］敬語表現について学び、正しく敬語を使い、会話することができる。 c：将来に向けて敬語や文章の表現方法について積極的に学ぼうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート
	わかりやすく説明する ［教材］ 「ナンバーワンか、オンリーワンか」	a：言葉や語句の意味を理解し、正確に文章を読み取っている。 b：［書］二つの異なる意見が何かを読み取り、ナンバーワンであることと、オンリーワンであることの違いを理解し、自分の意見を書くことができる。 c：本文を読み、授業に積極的に参加している。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート
二	わかりやすく説明しよう ［教材］ ショートスピーチをしよう	a：人に分かりやすく説明できる話の構成や展開を学んでいる。 漢字の小テストを行い、基礎学力を身につけている。 b：［話/聞］人の意見を聞き、自分の考えと違う点について話し合ったり、自分の意見を正確に表現したりすることができる。 c：人の発表を聞き、意見や感想を言うことができる。	発表 グループワーク	発表 グループワーク	ワークシート グループワーク
	日本語を使いこなす ［教材］ 手紙・はがきの書き方（郵便局）	a：手紙・はがきの書き方を的確に理解し、手紙・はがきを書くことができる。 漢字の小テストを行い、基礎学力を身につけている。 b：［書］手紙・はがきの書き方を学び、正確に書くことができる。 c：手紙やはがきの書き方に従い、自分の思いを書くことができる。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート

※令和４年度以降入学生用

	論理を読み取る ［教材］ 「水の東西」	a：語句の意味を的確に捉え、比喩表現の意図をつかんでいる。 漢字の小テストを行い、基礎学力を身につけている。 b：［読］それぞれの具体例が「日本の美意識」「西洋の美意識」のどちらと対応しているかを理解し、自らの考えを深めている。 c：本文を読み、授業に積極的に参加している。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート
三	社会に目を向けて ［教材］ 「何のために「働く」のか」	a：言葉や語句の意味を理解し、正確に文章を読み取っている。 漢字の小テストを行い、基礎学力を身につけている。 b：［書］働くことについて自分の考えを持ち、書くことができる。 ［話/聞］働くことについて自分の意見を発表することができる。 c：働くことについて考え、自分の意見を持つことができる。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数
・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間
・書くこと　…　（　30　）時間
・読むこと　…　（　20　）時間